

# ふくい街角景気速報

(令和4年7月分)

調査期間 令和4年7月20日～27日 (回答率: 96%)

## 概況

景気の現状判断DIは45.6となり、前月と比べ4.4ポイント低下した。

景気の先行き判断DIは40.1となり、前月と比べ8.1ポイント低下した。

■景気の現状判断DI 45.6 (前月比 ▲4.4)

- 家計動向関連では、前月に比べ 11.6 ポイント低下した。
- 企業動向関連では、前月に比べ 2.0 ポイント上昇した。
- 雇用関連では、前月に比べ 7.0 ポイント上昇した。

(意見の主な内容)

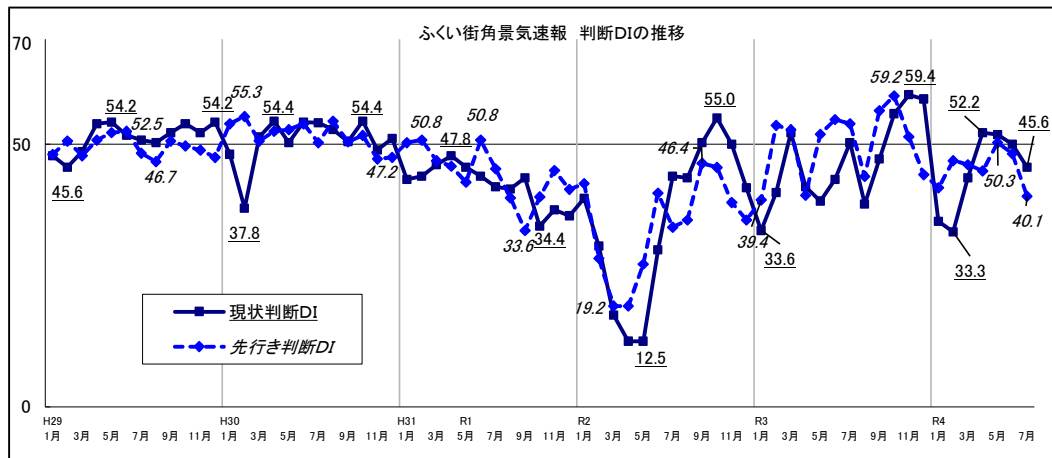
- 来店客数が減少している。商品の調達、店舗の運営維持コストが上昇している。(一般小売店)
- 通信関連(中華圏等)の受注の減少や半導体不足の長期化、中国のロックダウン等の世界情勢の影響により、先行きの不透明感が強まっている。(電気機械関連)

■景気の先行き判断DI 40.1 (前月比 ▲8.1)

- 家計動向関連では、前月に比べ 14.7 ポイント低下した。
- 企業動向関連では、前月に比べ 0.5 ポイント上昇した。
- 雇用関連では、前月に比べ 5.7 ポイント低下した。

(意見の主な内容)

- 新型コロナの感染拡大の影響や、物価高、品不足等の景気後退となる要因が多い。(百貨店、SC等)
- ここ最近の労働相談の内容では、コロナに関係する相談が増えてきている。第7波の新型コロナウイルス感染症がそのまま増え続けていけば、今後の景気に影響すると考える。(労働相談員)



<目次>

調査の概要	1 P
1. 景気の現状判断DI	2 P
2. 景気の先行き判断DI	2 P
3. 判断理由	
(1) 景気の現状判断の理由	3 P
(2) 景気の先行き判断の理由	4 P
4. 参考	
(1) 調査対象の構成	5 P
(2) 調査票	6 P

## 調査の概要

### 1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

### 2. 調査の実施概要

#### (1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	48	26	17	5
坂井	坂井市、あわら市	11	7	3	1
奥越	大野市、勝山市	8	6	2	0
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	13	2	9	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	20	11	5	4
計		100	52	36	12

#### (2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

#### (3) 調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

### 3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

### 4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0 ← 50 → 100  
 悪くなっている 変わらない 良くなっている

## 1. 景気の現状判断DI

### ○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	R4 2	3	4	5	6	7	(前月差)
合計		33.3	43.6	52.2	51.8	50.0	45.6	▲4.4
家計動向関連		25.5	42.0	56.3	55.5	55.5	43.9	▲11.6
小売		28.1	39.5	54.7	53.1	50.0	39.1	▲10.9
飲食		12.5	58.3	70.0	62.5	66.7	50.0	▲16.7
サービス		20.8	45.0	54.5	58.3	64.6	54.2	▲10.4
企業動向関連		40.2	43.6	45.5	45.6	45.1	47.1	+2.0
製造業		38.0	40.4	45.0	48.0	48.1	46.2	▲1.9
非製造業		46.9	52.8	46.9	38.9	37.5	50.0	+12.5
雇用関連		45.5	50.0	54.2	54.2	40.9	47.9	+7.0

### ○回答別構成比

	年 月	R4 2	3	4	5	6	7	(前月差)
良くなっている		2.2%	1.1%	3.2%	2.1%	4.1%	1.0%	▲3.1
やや良くなっている		4.4%	18.9%	28.0%	30.2%	25.8%	25.0%	▲0.8
変わらない		37.8%	44.4%	44.1%	43.8%	40.2%	35.4%	▲4.8
やや悪くなっている		35.6%	24.4%	23.7%	20.8%	25.8%	32.3%	+6.5
悪くなっている		20.0%	11.1%	1.1%	3.1%	4.1%	6.3%	+2.2

## 2. 景気の先行き判断DI

### ○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	R4 2	3	4	5	6	7	(前月差)
合計		46.9	46.1	44.9	50.3	48.2	40.1	▲8.1
家計動向関連		48.9	48.3	48.4	52.5	53.5	38.8	▲14.7
小売		47.7	46.8	44.5	49.2	46.1	35.9	▲10.2
飲食		37.5	33.3	55.0	54.2	62.5	50.0	▲12.5
サービス		54.2	57.5	56.8	60.4	68.8	41.7	▲27.1
企業動向関連		43.2	41.4	39.4	47.8	42.4	42.9	+0.5
製造業		43.0	43.3	38.0	49.0	43.3	43.3	+0.0
非製造業		43.8	36.1	43.8	44.4	40.0	41.7	+1.7
雇用関連		50.0	52.3	45.8	47.9	43.2	37.5	▲5.7

### ○回答別構成比

	年 月	R4 2	3	4	5	6	7	(前月差)
良くなる		3.3%	2.2%	4.3%	4.2%	8.2%	0.0%	▲8.2
やや良くなる		18.9%	25.6%	20.4%	24.0%	29.9%	14.6%	▲15.3
変わらない		47.8%	37.8%	32.3%	44.8%	28.9%	40.6%	+11.7
やや悪くなる		22.2%	23.3%	36.6%	22.9%	26.8%	35.4%	+8.6
悪くなる		7.8%	11.1%	6.5%	4.2%	6.2%	9.4%	+3.2

### 3. 判断理由

#### (1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
②やや良くなっている	家計 動向	嶺南	商店街	現在は急激にコロナの第7波の影響が出ているが、それまではかなり人出が増えてきていた。少し緊張感が無くなっていった時期かも分からないが、イベントや祭事が再開されてきている。
		坂井	スーパー	天候与件もあるが、売上としては比較的良好な推移である。
		福井	コンビニエンスストア	土日祝の来店客数が増。休日の活動は活発化している。
	企業 動向	坂井	一般機械関連	コロナによる製造業全体の動きに回復傾向が見られる。
		嶺南	食料品製造関連	売上げ高が3年前に近づいてきた。
	雇用	福井	学校就職担当者	高校生の採用状況が意欲的である。
③変わらない	家計 動向	丹南	商店街	中旬過ぎからのコロナ感染拡大第7波の影響なのか夏物セールを始めても、相変わらず来店客数・売上も伸びてこないから。
		福井	一般小売店	コロナ感染の落ち着きとともに、景気の回復を期待していたが、最近の急激な感染拡大により、客足がまた遠のいている様子である。特に悪くもならないが、良くもなっていない。
		福井	スーパー	エネルギー価格の高騰、個人消費の回復の鈍さから、ウイズコロナでの経済の正常化の動きが相殺され、結果変化なしと考えるため。
		福井	観光関係	コロナが収束しつつあったが、第7波の影響で需要が停滞し始めた。
	企業 動向	福井	一般機械関連	建設機械部品製造業としての景気は、昨年度より好調が継続しており、半導体不足や上海ロックダウンによる部品供給問題等により、一部若干の受注減少はあるものの高水準の受注が続いている。
		福井	化学・プラスチック関連	新型コロナウイルスの制限の緩和が進む一方で、半導体不足やウクライナ情勢の長期化に伴う供給制約、物流費や原材料費高騰等の影響は大きく、引き続き厳しい状況が続く。
		丹南	食料品製造関連	新型コロナの感染数が増え、少し良くなっていた観光客の数が減ってきた。
		福井	銀行等金融関連	第7波の感染拡大により、宿泊業・小売業・飲食業などを中心に予約キャンセルなど売上減少の影響が出ている。製造業では円安の加速と長引く原材料の価格高騰、部品の供給不足が製造業の重荷になり収益を圧迫している。
		福井	運輸関連	運送業で取扱荷量が伸びていない。
	雇用	福井	学校就職担当者	就職活動における採用状況等変化はない。
	④やや悪くなっている	家計 動向	福井	一般小売店
福井			百貨店、SC等	コロナ収束傾向で消費に活性傾向にあったが、断続的な値上げや、再度コロナまん延傾向で、消費を控えている傾向をよく目にする。
福井			百貨店、SC等	様々な値上げの影響を受け、食品全般が厳しい状況。
福井			百貨店、SC等	7月に入ってからコロナの感染拡大の影響が顕著に出ている。
奥越			観光物産関係	暑さとコロナにより外出を控える動きがあり、来店者が少ない。
坂井			観光物産関係	コロナ感染者が増えている。商品の動きも週ごとに悪くなっている。
福井			観光関係	7月上旬までは順調に回復基調にあったが、中旬より感染拡大傾向が顕著になるにつれて、利用者減、キャンセルが相次いでいる状況となった。社内でも感染者、濃厚接触者が多く出るなど営業に支障をきたしている。
企業 動向		丹南	眼鏡関連	コロナの影響は少なくなったが、物価上昇に歯止めがかからず経営を圧迫している。
	丹南	電気機械関連	通信関連(中華圏等)の受注の減少や半導体不足の長期化、中国のロックダウン等の世界情勢の影響により、先行きの不透明感が強まっている。	
雇用	嶺南	就職情報誌	コロナ感染者が増加してきているため。	
⑤悪くなっている	家計 動向	坂井	一般小売店	コロナの拡大により観光客が激減したため。

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
②やや良くなる	家計動向	福井	百貨店、SC等	感染拡大が落ち着くまでに1ヶ月から2ヶ月は続くと思うが、一定量の感染者の数が増えた後は少しずつ経済が回ってくることを期待したい。
		嶺南	観光関係	順調に回復と思われた7月だが、感染の急拡大によって、伸びが鈍化した。この先は、どんどん良くなって、コロナ前の売上に近づいていくものと思う。
	企業動向	福井	繊維関連	業界的には上向きになっているため。
		嶺南	食料品製造関連	経済活動が復帰してきたため。
③変わらない	家計動向	嶺南	商店街	夏休みに入るので、現在保育園などが休んでいる状況、里帰りを考えると、これ以上増えなければ良くなると思う。
		福井	一般小売店	店頭販売はどうしてもコロナの影響を受けるので、当面は小康状態と予想している。
		福井	百貨店、SC等	コロナ感染は増幅傾向にあるが、経済を回す動きは変わらないと思うため。
		福井	スーパー	コロナの再拡大はあるが、行動制限には至っておらず、為替やエネルギー価格にも当面、大きな変化が予測されないため。
		坂井	観光物産関係	コロナの状況次第ではあるが、収束が落ちついていないと思うので商品の動きが悪くなるため。
		福井	観光関係	コロナ第7波の影響で旅行需要に動きがあるが、WITHコロナの考えが定着し始めているため。
	企業動向	坂井	繊維関連	現状では今後に関して不透明な所も多いため。
		福井	一般機械関連	建設機械部品製造業としての景気は、昨年度より好調が継続しており、半導体不足や上海ロックダウンによる部品供給問題等により一部若干の受注減少があるものの、高水準の受注が続くと思われる。
		福井	化学・プラスチック関連	ウクライナ情勢の長期化による食料品や日用品をはじめとした製商品の相次ぐ値上げに加え、新型コロナウイルスの感染再拡大の動きもみられ、当面、個人消費は本格的に回復しないと思われる。
		福井	運輸関連	コロナ、ロシアのウクライナ侵攻当等、不透明感が強い。
雇用	福井	ジョブカフェ担当者	新型コロナウイルス感染症の再拡大(第7波)による全国的な新規感染者数の増加や、長引く物価高騰や円安の影響で、急激に景気が回復するとは考えられないため。	
④やや悪くなる	家計動向	丹南	百貨店、SC等	新型コロナウイルスの感染拡大の影響や、物価高、品不足等の景気後退となる要因が多い。
		福井	スーパー	感染者数が増え外出そのものを控えることと、仕入れ値の値上げが立て続けに報告されていることにより、消費が冷え込むと思われる。
		嶺南	スーパー	新型コロナウイルス感染症でのBA5株への置き換わり・新たな変異株等、状況改善の見通しが立たない。自主的な行動制限・今後も続く物価高を考えると、まだ景気が上向き状況にはないのではないか。
		嶺南	飲食関連	相場、円安、情勢不安などで、仕入れ価格の高騰が続いているため。
		坂井	観光関係	コロナの状況次第だが、キャンセルが相次いでいるため。
	企業動向	福井	一般機械関連	円安が改善されないまま、電装部品等の仕入が悪化してきているので、出荷調整が本格的に検討される。
		嶺南	化学・プラスチック関連	さらに円安が進むと考えられるため。
		福井	銀行等金融関連	対面を伴う飲食・宿泊などサービス業を中心に厳しい状況が続くと思われる。感染抑制と社会経済活動の両立が鍵となる。また、物価高騰が進み個人消費や企業活動を下押しするなど景気の下振れリスクには注視が必要。
雇用	嶺南	労働相談員	ここ最近の労働相談の内容では、コロナに関係する相談が増えてきている。第7波の新型コロナウイルス感染症がこのまま増え続けていけば、今後の景気に影響すると考える。	
⑤悪くなる	家計動向	福井	一般小売店	物価高で消費行動がより慎重になっているので、販売が落ちる可能性がある。
		福井	観光関係	感染拡大のピークがいつ頃になるかわからない中、宴会や宿泊の特に団体利用がキャンセルが相次いでおり、しばらくは悪化すると思われる。
	企業動向	福井	商社	コロナの感染力増による、県外客の減が見込まれる。

#### 4. 参 考

##### (1) 調査対象の構成

調査対象		人数
<b>家計動向関連</b>		52
<b>商店街、小売店</b>		
	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
<b>百貨店、SC等</b>		
	店長・売場主任	10
<b>スーパー</b>		
	店長・従業員	5
<b>家電販売店</b>		
	経営者・店長・従業員	2
<b>コンビニエンスストア</b>		
	店長	2
<b>ドライブイン等</b>		
	経営者・スタッフ	3
<b>飲食関連</b>		
	レストラン等経営者・店長・スタッフ	4
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
<b>その他サービス関連</b>		
	サービス業経営者・従業員	4
<b>観光関係</b>		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	観光・レジャー施設関係者	1
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	1
<b>企業動向関連</b>		36
<b>製造業経営者・従業員</b>		
	繊維工業	4
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	2
<b>非製造業経営者・従業員</b>		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	3
	運輸	3
<b>雇用関連</b>		12
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	3
	ジョブカフェ担当者	2
	人材派遣会社	1
	就職情報誌編集者	2
計		100

## 4. 参 考

### (2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および記入者氏名)

---

#### 【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。  
今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。  
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている    ②やや良くなっている    ③変わらない  
④やや悪くなっている    ⑤悪くなっている

#### 【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

#### 【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3か月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。  
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる    ②やや良くなる    ③変わらない    ④やや悪くなる    ⑤悪くなる

#### 【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県産業労働部産業政策課経済戦略グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)